

波紋

消費税増税中止県民集会
暮らしも経済も破壊する

こんな時に
消費税増税やめて！
滋賀県民集会

6月9日、長浜小学校において第59回滋賀県母親大会が開催され千人を超える参加がありました。

大会の速報「湖北の風」1号に掲載された実行委員長の田中靖子さんの歓迎あいさつに「母親大会は来年は60回、人間でいえば還暦です。ここまで運動が続いてきたのは平和と子どもの幸せを願う母親の熱い思いからです。

福島原発事故から2年過ぎて、ネズミで電源喪失や汚染水漏れなど原発事故は今も続いています。お隣の敦賀原発の下には、活断層があり非常に危険だと発表されました。日本は地震国です。原発の再稼働など許されません。・・・

『生命を生みだす母親は生命を守り 生命を育てることをのぞみます』このスローガンのもとに、放射能から子どもを守り、子どもたちの未来が平和で安心して暮らせる社会になるよう、

は挨拶で「母親大会は、ピキニ岩礁での水爆実験で3度目の被曝となって、核兵器廃絶の運動の中で、命をばぐむ大会として、59回も続けてこられた。福島原発事故で4度目の被曝を受けることになった。このようなときに、このお母さんたちの大会が広がっていくように」と、激励されました。

記念講演は映画監督の纈（はなぶさ）あや氏が「いのちの営みをみつめる―反原発の島を撮り続けて」と題して講演されました。

祝島の人々との出会い、人々が守ろうとしている生活を見たいと島に通ったこと、原発反対運動の様子や島の人々とのやりとりなど、映像も交えながら、明治からつづく棚田を作っているおじいちゃんの『人間が自然からつくり出したものは、いつか自然にかえるものだ。だからそれでいい』という言葉聞き、それに対し原

は挨拶で「母親大会は、ピ
キニ岩礁での水爆実験で3
度目の被曝となって、核兵
器廃絶の運動の中で、命を
はぐくむ大会として、59回
も続けてこられた。福島原
発事故で4度目の被曝を受
けることになった。このよ
うなときに、このお母さん
たちの大会が広がっていく
ように」と、激励されまし
た。

記念講演は映画監督の額
瀨（はなぶさ）あや氏が
「いのちの営みをみつめる
議」を採択しました。

運動交流では、原発ゼロ
や中学校給食、子どもの医
療費無料化などでした。ま
た、大会では「橋下大阪市長・日本維新の会共同代表
による『慰安婦は必要』
『風俗業活用』の暴言撤回
と公職辞任を求める特別決

また気分が悪くなれば中央のテントに看護の準備があると云われるほど、厳しい暑さの中「消費税増税中止を求める」この一点で350名が集い、先輩組合員5名の参加もありました。

滋賀銀行従業員組合の旗を持ちながら、ふと銀行交渉で「トップライン厳しく、リーマンショックの時とは違い貸金が伸びない」「県内の状況は先行き不透明だ」と経営の厳しさを説明していたことを思い出しました。

さらに銀行は中小企業と共に歩む「地域社会との共存共栄」を柱に掲げており、県民集会のメインスローガン「商売を破壊し・暮らしを破壊し・日本経済も破壊する」消費税増税やめよ!」の方向は経営トップとも一致する課題でもあります。

自信を持って一歩踏み込んだ運動を広げようと先輩組合員とも話し合いながら集会やデモ行進に参加しました。

書記長 澤井正

理事長、全日本年金者組合、滋賀県本部委員長、滋賀県労働組合総連合議長、滋賀県商工団体連合会長の6氏が呼びかけ発起人となり、68団体と53個人が呼びかけ賛同団体となり行われたもので、消費税増税阻止めざす決起の場となりました。

集会では、生活と健康を守る会、県職員組合、民商、消費税廃止湖北各界連、日本共産党などの代表がリレートークを行い、消費税増税阻止を訴えました。

集会の最後に「7月の参議院選挙が天王山。悪政を

者の方たちは、「消費税10%阻止」のムシロ旗を掲げて行進しました。

参加した澤井さんから次の報告が寄せられました。

6・16消費税増税中止県民集会に参加しました。主催者から会場の中央は熱いの



6月16日、大津市膳所公園において「こんな時に増税やめて！消費増税中止県民集会」が開催され、猛暑のなか県内各地から350人が参加しました。

県民集会は、滋賀県生活協同組合連合会会長、滋賀県保険医協会長、滋賀県茶飲生活衛生同業組合



変えるのは世論と運動」と、消費税増税の中止を求める集会宣言を力強く採択しました。

集会終了後、参加者はパルコ前までデモ行進しシュプレヒコールを響かせました。のぼり旗、プラカードや横断幕、ちようちんを手に、労働・団体が続き、最後尾隊列の業



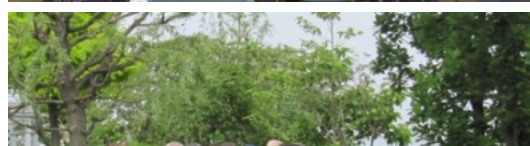
「ちぎんしがの会」が発足



参加者で記念撮影



倉見世話人の閉会の挨拶



バラ園を散策



岩波さんの作品展示



川島さんの演奏



講演中の早川一光氏



和田世話人の開会の挨拶

2013.6.2 びわ湖大津館

「県内組合旗
リレー行進」
がスタートし
ました。

平和行進 元気に県内通し行進

2日目の17日は、彦根市役所から東近江市役所の長いコースです。前日につづいて山崎さんが彦

3日目の18日は、八軒さんが安土駅から野洲駅までのコースを一人で頑張りました。

4日目の19日は、野洲市役所から草津駅までの長いコースを賑やかに進みました。



6月16日湖北支部の清水さんと山崎さんが関ヶ原公民館で行われた、岐阜県からの引き継ぎ集会に参加し、今年も従業員組合恒例の

根を出発し、豊郷町役場で谷さんと合流、2人で愛荘町役場まで中山道を、午後は谷さんが東近江市役所まで行進しました。

5日目の20日は、植木さん、浦谷さん、奥村さん、坂下さん、澤井さんの5人で草津市市役所から県庁までの長いコースを賑やかに進みました。

6日目の21日は、岩波さん、中島さんが大津市役所から山科ラクト公園の引き継ぎまで行進しました。次号に「リレーノール」を掲載します。

6月2日、大津市内のびわ湖大津館（旧びわこホテル）において「ちぎんしがの会」の発足会が開催され、40名が参加されました。

同つどいの案内には「1997年5月の滋賀銀行従業員組合結成50周年記念のつどい以来、久しく参集の機会も無いまま時は過ぎ去っており『一同に会する機会はないものか』とのご意見もあり、今回ようやく企画にたどり着いたしだいです。・・・今回の『ちぎんしの会』は、歴史の経緯を考慮しつつ幅広く参加できる『場』という要請・思いから企画へと取り組まれたものです。従って全国的なネットワークづくりも視野に入れて各地でも『ちぎんしの会』誕生に期待が寄せられています。」と16年ぶりに幅広い方々に呼びかけられた経緯などが記されています。

つどいは、三橋俊夫さんと田中紀美子さんの司会で始められ、和田一郎さんが世話人を代表して開会のあいさつをされ、プログラムは、川島美和さんのフルートと山田千恵子さんのピアノ演奏によるコンサートで始まりまし。

つづいて、早川一光氏（一九二四年生れ）の講演を聞きました。先生は実に元気な90歳、手拍子に乗って登場、歌あり、踊りあり、色紙のプレゼントあり、大笑いの連続で「元気をたくさんいただきまし」。

早川氏は50年以上地域医療を展開し、「わらじ医者」と言われながら路地から路地へと往診をやってきました。KBS京都ラジオの生番組を持つておられます。

日根野さんの乾杯の音頭で懇親会はスタート、懐かしい方、久しぶりの仲間の近況を聞くうちあつという間の2時間、倉見さんの閉会のあいさつで再会を誓い合いながらのお開き。送迎バスの待ち時間に全員がバラ園を散策しました。なお、会場に岩波さんの色紙が展示されました。